

広島市植物公園 見どころ案内

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (6/21~7/25)
冬虫夏草展
- ◇展示温室 (同時開催)
アリと生きる植物展 (7/17~8/1)
世界の食虫植物展 (7/17~8/15)

キレンゲショウマ (アジサイ科)

ナスのような蕾で黄色い花を咲かせます。小説「天涯の花」に登場することで有名です。

ウイキョウ (セリ科)

古くから栽培されているハーブの一種で、英名のフェネルで有名です。魚料理と相性が良いためフィッシュハーブとも呼ばれています。

冬虫夏草

虫から生えるキノコで、この時期に樹林観察園で見ることが出来ます。クモタケが多く発生しており、赤いマーカーを付けています。

シナサワグルミ

(クルミ科)
中国原産。クルミのなかまですが、実は大きくならず、食べられません。

ガッツアリア

(キク科)
コダチダリアを片親とした交配品種です。晩秋咲きのコダチダリアとは違い、この時期から咲き始め、背も低いので家庭向きの品種です。

スイレン (スイレン科)

蕾が次々と上がってきては白い花を咲かせています。天気にもよりますが、午後には閉じることが多いので、天気のいい日の午前中の観賞がオススメです。

オオバギボウシ

(キジカクシ科)
蕾が神社仏閣にある擬宝珠に似ているため、この名前が付いています。ウレイの名で山菜としても利用されます。

トーチジンジャー

(ショウガ科)
地面から花茎をまっすぐ伸ばし、その先に赤色の花を咲かせています。観賞用として有名ですが、食用にもなります。

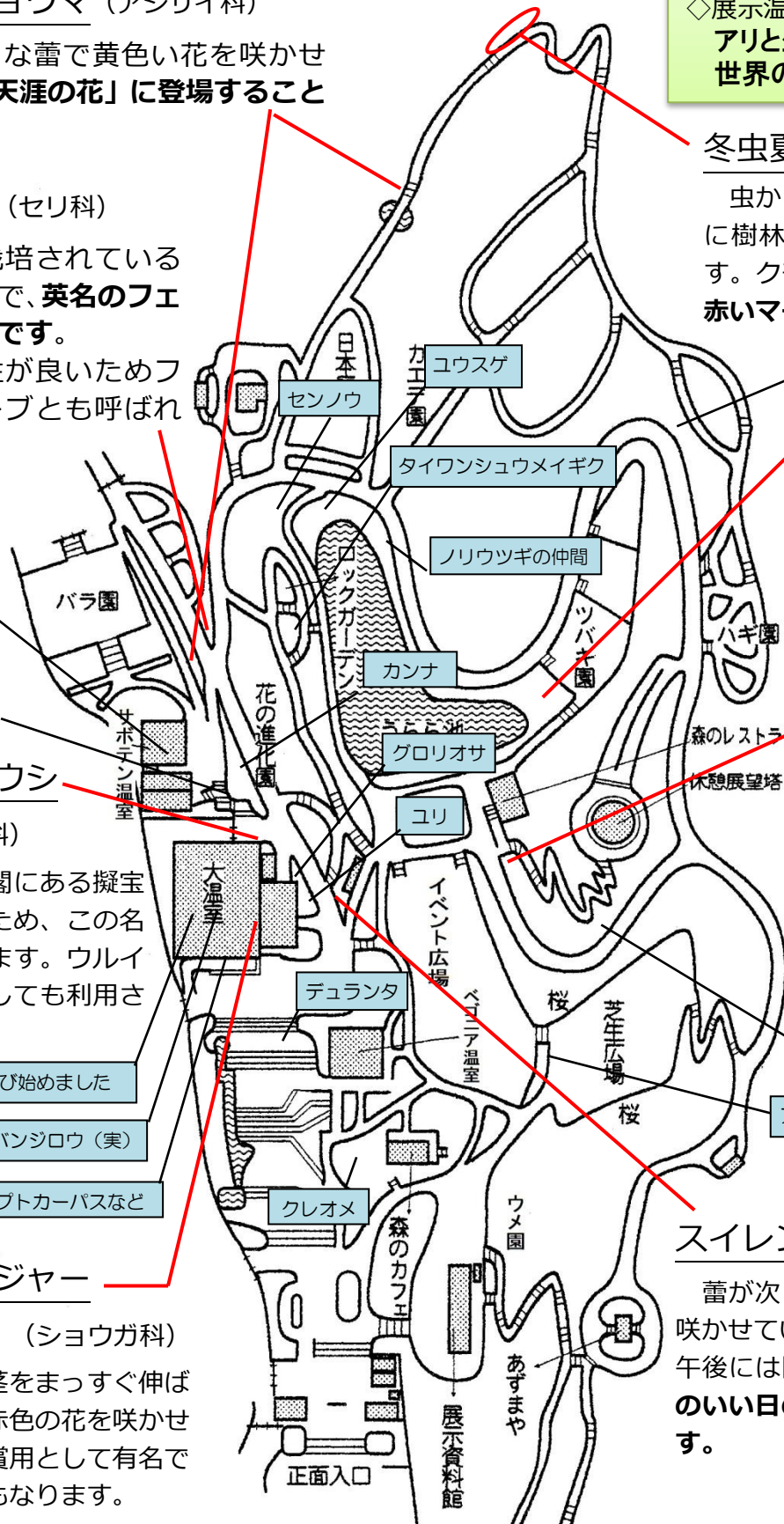
ポウイエア (蒼角殿)

サラセニア

パオバブの芽が伸び始めました

レンブ、テリハバンジロウ (実)

ストレプトカーパスなど



ポポー (実)

ハキ園

森のレストラン
休憩展望塔

ヒペリカム

アメリカノウゼンカズラ

ウメ園

展示資料館